

令和6年度
シラバス

教科・科目	理科・高山植物（学校設定科目）	単位数	2
-------	-----------------	-----	---

学年・クラス	1 学年（必修）・選択	担当者	浦田 麻衣
使用教科書	なし		
使用副教材	利尻・礼文自然観察ガイド 新版 北海道山の花図鑑 利尻島・礼文島		

目 標

- （１）礼文島の自然を観察することを通して、自然の事物・現象についての知識を深め、まとめる力を身につける。
- （２）見通しを持って実験・観察を行い、科学的に探究する力を身につける。
- （３）主体的に学習に取り組み、観察・実験の結果から科学的に探究する態度を身につける。

授業の内容・進め方

- 高山植物の構造と花の種類
（１）植物の基本構造 （２）植物の分類
 - 礼文島の自然環境
（１）礼文島の成り立ち （２）国立公園 （３）礼文島の地形（山と丘陵、森林、湿原）
 - 礼文島の高山植物の保全
（１）自然保護 （２）自然利用のあり方 （３）礼文島の観光産業
- 座学を基本とします。実習後はレポートを作成するので、実習の記録（メモ、写真）をしっかりと取りましょう。

評価規準（観点別達成目標・評価項目）

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	礼文島の自然を観察することを通して、自然の事物・現象についての知識を深め、まとめる力を身につけている。	見通しを持って実験・観察を行い科学的に探究する力を身につけている。	主体的に学習に取り組み、観察・実験の結果から科学的に探究する態度を身につけている。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	実習・記録	○	△	◎
	実習レポート	◎	○	△
	レポート（授業内）	○	◎	△
	課題・提出物	○	○	◎

・ 観点別評価 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。

A：十分満足できる B：おおむね満足できる C：努力を要する

・ 評価・評定 観点別評価から総合的に成績（評価・評定）を決定する。

指導計画及び中単元別評価基準

学 期	月	単元	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
前 期	4	高山植物の構造と 花の種類 (1) 植物の基本 構造	植物の基本構造と 各構造の働き	植物の構造について、 基本的な知識を身につ けている。	植物の構造について科 学的に考察している。	植物の構造について主 体的に探究している。
	5		○野外実習 湿原の特徴 周氷河地形と風衝 木の観察	湿原の植生や地形につ いて知識を身につけて いる。	ザゼンソウの発熱につ いて、科学的に考察し てレポートを作成して いる。	野外実習に主体的に参 加している。
	6		○野外実習 植物の基本構造 花壇での定期観察 外来種駆除	花壇の植物の名前と特 徴について知識を身に つけている。また、外 来種を見分けて適切に 駆除している。	外来種駆除の重要性に ついて考察し、実習内 容をレポートにまとめ ている。	野外実習に主体的に参 加している。
			○野外実習 6月の植物 環境と植物	6月の花の名前と特徴 について知識を身に付 けている。	6月の植物について、 また、高山植物とササ の住み分けについて考 察し、レポートにまと めている。	野外実習に主体的に参 加している。
	7	(2) 植物の分類	礼文島で見られる 高山植物の分類	植物の分類において、 科の特徴について基本 的な知識を身につけて いる。	高山植物の科の特徴に ついて考察している。	植物の科の特徴につい て主体的に学習に取り 組んでいる。
			○野外実習 7月の花の観察	7月に咲く花の名前と 特徴をまとめ、説明す る力を身につけてい る。	実習内容をレポートに まとめ、科学的に考察 している。	野外実習に主体的に参 加している。
	8	2 礼文島の自然 環境 (1) 礼文島の成 り立ち	礼文島と利尻島の 成り立ち	礼文島と利尻島の成り 立ちから、両島の特徴 についての知識を身に つけている。	礼文島と利尻島の成り 立ち、それぞれの植生 の違いについて科学的 に考察している。	礼文島と利尻島の成り 立ちや特徴について主 体的に学習に取り組ん でいる。
	9		○野外実習 8月の花の観察	8月の花の名前と特徴 について知識を身に付 けている。	8月の花について、名 前と特徴をまとめ、科 学的に考察してレポー トにまとめている。	野外実習に主体的に参 加している。
		(2) 国立公園	日本の国立公園と その役割	日本の国立公園とその 役割について知識を身 につけている。	日本の国立公園につい てプレゼンテーション を作成し、わかりやす く発表している。	主体的にプレゼンテー ションを作成してい る。
			○野外実習 9月の花の観察 利尻島と礼文島の 成り立ちについて 知識を身につけて いる。	9月の花の名前と特徴 について知識を身に付 けている。	9月の花について、名 前と特徴をまとめ、科 学的に考察してレポー トにまとめている。	野外実習に主体的に参 加している。 ノートに授業内容、実 習の記録をまとめている。

学 期	月	単元	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
後 期	10	(3) 礼文島の 地形（山と丘陵・ 森林・湿原）	地形の形成 環境要因と植生の 関係 植物の生活史を比較し、生存競争の 在り方を考える。	礼文島の地形、環境要因と植生の関係について知識を身につけている。	植物の生活史を比較し、特に高山植物の生存競争について科学的に考察している。	高山植物の生存競争について主体的に探究している。
	11		○野外実習 ササ刈り	アツモリソウ保護のためのササ刈りについて安全に配慮し、正しく行っている。	実習内容を正しく理解し、レポートを作成している。	野外実習に主体的に参加している。
	12	3 礼文島の高山 植物の保全 (1) 自然保護	自然保護活動先進地の取り組みと礼文の自然保護活動 ○校内実習 アツモリソウの培養実験 アツモリソウの生態と生活史	自然保護活動の方法と重要性について知識を身につけている。 アツモリソウの培養実験について、手順や操作を理解して正しく行っている。	絶滅危惧種についてレポートにまとめ、わかりやすく発表している。 アツモリソウの培養実験を通して、アツモリソウの保全について科学的に探究している。	自然保護活動について問題を発見し、問題解決の方法を主体的に考察している。 実習に主体的に参加している
	1	(2) 自然利用の 在り方	環境保全の取り組みについて 観光と自然保護 ○野外実習 雪の保温効果	環境保全の取り組みについて、知識を身につけている。 雪の保温効果を観察、記録する技能を身につけている。	観光と自然保護の観点から、環境保全について探究している。 雪の保温効果について、科学的に考察してレポートを作成している。	観光と自然保護の観点から、環境保全についての問題を発見し、主体的に解決方法を考察している。 野外実習に主体的に参加している。
	2					
	3	(3) 礼文島の観光産業	まとめ カレンダー作成 ○野外実習 雪の中のミズバショウの観察	1年間の学習で得た知識を正確に活用し、カレンダーを作成している。 雪の中のミズバショウを観察する技能を身につけている。	カレンダーに、見やすいように工夫をしていて、内容がまとめられている。 実習内容をレポートにまとめ、科学的に考察している。	カレンダーを協働して作成している。 野外実習に主体的に参加している。 ノートに授業内容、実習の記録をまとめている。